

各作品の評価内容

別添1

<1次審査評価内容 ※2次審査対象者は除く >

作品番号	評価内容
1-26	集会室と広場の一体感があり、周辺との調和についてよく考慮されている。
1-36	平面プランや動線が、使いやすいデザインである。
2-112	シンプルな平面計画で、使いやすいデザインである。
2-195	独創的である。防犯や管理面は課題である。
2-200	プランに好感がもてる。
2-223	平面プランや動線が、使いやすいデザインである。
2-236	ウッドデッキで通り抜けるデザインに好感がもてる。
2-239	プランが独創的である。
2-304	集会室と広場の一体感があり、周辺との調和についてよく考慮されている。
2-318	平面プランや動線が、使いやすいデザインである。
2-342	中庭の設置が、好感がもてる。

<2次審査評価内容>

作品番号	評価内容
1-11	パースが丁寧に描かれている。また、外構のデザインが丁寧にされているなど周辺がよく考慮されている。谷となる屋根のかけ方は、雨水の処理や管理の面では課題である。
1-25	重要な部屋を全て外に向けて配置したプランが評価された。ガラス面を多用し外に開くことで楽しさが見えるというコンセプトも評価された。維持管理の面は課題である。
1-28	ボリュームを2つに分割しその中央から入るといったシンプルな平面プランが評価された。集会所のアクティビティが見えるような東側の利用は評価されるが、広場へと接する北側の利用は閉鎖的であり課題が残る。
1-34	手描きの図面表現が丁寧である。また、南側・東側を中心としたふれあいリビングの平面プランは配置がきれいであり、使い勝手が良さそうである。外構がもう少し表現されていればなお良い。
1-43	応募条件をよく読み込んだ作品であり、ふれあいリビングの計画がよく考慮されている。移動家具はよく考えられているが、動かすという利用者の使い勝手の面では検討が必要である。
1-52	バランスがよく、まとまったプランである。様々なモードの考え方は面白いが、もう少し考慮すべきところもある。デッキは、広場との関係性から、北側にも設置する方がより良くなる。
2-55	玄関ホールとふれあいリビングを兼ねた平面プランやテラスを設けたプランが、常時人がたまるような空間となっている点で評価された。外観が少し硬い点や、キッチンが独立利用できない点は課題である。
2-103	広場、テラス、集会室が一体的となったプランが評価された。また、シンプルなプランであり、よくまとまっている。採光にも配慮されていて良いが、階高が高く、電球の交換など管理面では課題が残る。また、東側に閉じている点も課題である。
2-105	あおぞらリビングというコンセプトと外に出るフレームとが特徴的である。東側の歩道から格子越しにアクティビティがのぞくことができる、格子のある集会室も良い。フレームまで梁を通し、テントやヨシズがかけられるようなものである方がより良い。
2-218	平面プランにおいて、南側を意識してふれあいリビングや集会室を上手く配置した点やコンパクトにまとまっている点が評価された。集会室の二室利用という点では難しい配置であり課題が残る。
2-278	外観がシャープで洗練されている。また、天井は高いものの光がよく入り、断面もよく考慮されている。また、平面はふれあいリビングと広場をつなげた点では評価されるが、ふれあいリビングと湯沸室との位置関係や南側利用の点では課題が残る。
2-287	集会室のアクティビティが歩道から見える点や人を呼び込むような広場と一体化したオープンスペースなど、敷地との関係性が高く評価された。木材を使用したフレームは、今後の維持管理の面では課題が残る。
2-292	中のアクティビティが見えるような東側の集会室配置や、広場の活動を受け止めるような北側壁面の円弧の意匠など、周辺への配慮が評価された。東、南、北の三面について上手く考慮されたプランであるが、西面の玄関配置には課題が残る。また、小規模な利用から大規模な利用へという課題へのアプローチの示し方は良い。
2-312	風の流れについて考慮し、建物方向や開口部を計画した点が評価された。また、3ブロックに分けることで建物のスケールを小さくしている点も良い。主要動線になる東側利用への配慮に課題が残る。
2-315	3つのLという明快なコンセプトとそれを計画に上手く反映させた点が評価された。北側の広場や南側の団地内通路に配慮した平面プランもよくまとまっているが、東側の計画に課題が残る。また、立面が端正できれいであり、高窓から光を取り入れるような断面的な工夫も評価された。
2-316	人の視線でのパースが心地よい。また、北側や南側に配慮されており、周辺の空間も上手くとっている。東側からのアプローチは良いが、壁など外観は少し閉鎖的であり課題が残る。また、通風の提案は面白く、風のぬけ方が良く考えられている。
2-317	平面プランが上手くまとまっている。また、広域レベルから団地スケール、平面プランへと、3段階で計画に落とし込んだ点も評価された。北側の倉庫配置が広場との繋がりを遮る点や敷地いっぱい建てられている点は課題である。
2-320	エントランスの東側配置や部屋とテラスとの関係など、四方全てを上手くとらえた点が評価された。集会室の採光について、高窓はあるものの、稼働間仕切りで仕切ると片方の部屋の窓がなくなる点で課題が残る。
2-336	ふれあいリビングと広場とをつなげ、南北軸に動線を通した点が評価された。東側も含めた3つの動線が意識され、その中心に土間を置く配置プランは優れている。土間の開放性は、セキュリティラインなど運営上の課題点はあるものの、使い方の可能性がより広がる点で評価された。